様式1

因北小 平成30年度学校評価表「因北小学校みらいプラン」

学校教育目標	自他を尊重し　主体的に学び続ける子どもの育成

a　ミッション	道徳教育を基盤とした授業改善の深化と研究成果の発信	a　ビジョン	（１）将来に向けて，夢と志をもてる児童を育てる。そのために，基礎的な学力・体力・道徳性を身に付けさせる。 （２）児童の自尊感情を高め，自分も人も認めることができる人間に育てる。 （３）保護者・地域から信頼される学校になる。 （４）教職員の総力を挙げた組織的で機能的な教育活動の推進を図る。

尾道市立因北小学校

評価計画								自己評価					学校関係者評価				改善計画
	b 中期経営目標（平成29・30年度）		c 短期経営目標（平成30年度）		d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月 g 達成値	1月 g 達成値	h 達成度	i 評価	j 結果と課題の説明	k 二次評価 イ	ロ	ハ	l コメント	m 改善案
学力づくり	児童に、広島県平均以上の力を付ける。	すべての学年に，県平均レベルの学力を身に付けさせる。	学校全体の決めごとを必ず守り、児童に、おおむね県または全国平均レベルの力を付ける。	「標準学力調査」２２項目（１１学級×2教科）中，１７項目で県平均以上とする。	①「学びの変革」を意識して日々の授業を行う。 ②チャレンジタイム・パーフェクトタイムの確実で丁寧な実施をする。	「標準学力調査」２２項目（１１学級×2教科）中，１７項目で県平均以上とする。	100%					◎ＣＩＬタイム等により取組を交流した。 ◎因北小授業スタイル（活用・ずれ・比較・分類・関連付け）により各教科で授業を行った。 ・学期末読み取りテスト80点以上の児童の割合 74.1%【目標値80%】 ・学期末漢字（1年ひらがな）テスト80点以上の児童の割合 74.0%【目標値80%】 ・学期末テスト（知識・理解／技能）80点以上の児童の割合 85.0%【目標値80%】 ・学期末テスト（数学的な考え方）80点以上の児童の割合 72.3%【目標値80%】 ●運動会等の行事の間には，実施ができないときがあった。	2		1		・引き続き，「学びの変革」を意識して日々の授業の改善を図る。 ・そのために，因北小授業スタイルを，職員が意識して使うとともに，児童自身も活用できるようにしていく。 ・学力向上を図るために，漢字前倒しの問題をもとにして漢字テストの実施をする。 ①月に一度以上，水曜日に実施する。 ②範囲と日時を事前に知らせ，練習をできるようにする。 ③採点は担任が行い，指導に生かすようにする。 ・チャレンジタイムとパーフェクトタイムで，基礎・基本の定着を一層図る。
体づくり		バランスのとれた体力を身に付け，自分の体の健康を自分で守ろうとする児童を育てる。		①「新体力テスト」９６項目（全学年男女別）のうち，83%＝80項目で県平均以上とする。 ②各学級において給食完食率を90%とする。	①新体力テストの結果を分析し，課題を焦点化して取組を進める。（併せて指導者の研修を行う。） ②取組目標について，各学級担任が到達状況を評価する。	①「新体力テスト」９６項目（全学年男女別）のうち，８３%＝80項目で県平均以上 ②各学級において給食完食率90%	100%	62%		72%	c	◎９６項目中，60項目（目標値80項目）で県平均値を上回った。（目標値-20項目） ◎握力（全学年男子），長座体前屈（全学年女子），で県平均値を上回った。 ●立ち幅跳びの値が全学年男女で１１／１２が下回っている。 ●５０M走の値が全学年男女で９／１２が下回っている。 ◎6月の献立別完食率は５５%だった。〈センター調べ〉。	2		1	・完食率９０%という目標は，厳しいのではないか。 ・完食率を上げるためには，食事時間や配膳の環境などの改善も必要ではないか。	①職員研修を行い，職員全体で児童の体力の現状を把握した。その後，課題克服のために２学期の体力つくりの具体的な取り組みを，学年毎に定めて目標設定を行った。重点課題については，１１月に再測定を実施する。その中で，課題発見的・外遊びの奨励・授業における運動量の確保を大切にしていく。 ②給食委員会を中心に，『(仮)もりもり週間』を各学級で１週間目標を持って取り組み，給食完食率90%を目指す。また，栄養士と連携し，食育の授業を行う。これらにより，児童の食に対する興味を高める。
心づくり		児童が自己を見つめ，人間としての生き方を考えると共に，自尊感情を高められるようにする。		道徳 自尊感情（自分にはよいところがある）に関わって，児童の肯定的評価が80%以上とする。	①月に１回以上，各学級と学校内の道徳コーナーを更新する。 ②日常的に，児童に対して肯定的な評価を行う。	「道徳教育改善・充実」総合対策事業のアンケートにおいて，自尊感情の項目で肯定的評価が80%以上とする。	100%	66.2% （4月）		82.8%	B	◎道徳性を育成する取組を行うことができた。 ◎肯定的な声かけを進んで行うことができた。 ・学期末職員アンケート　　100% ・全国学力・学習状況調査　肯定的評価をした児童の割合 87.5% ・「基礎・基本」調査　肯定的評価をした児童の割合 82.4%【目標値80%】 ・学年初アンケート　肯定的評価をした児童の割合 「自分のよさが，まわりの人から認められていると思う」の項目 91.3% ●学期末アンケートで，自己肯定感が特定の学年で低かった。 ６学年　69.3%　　４学年　73.7% ●保護者アンケートで，「「道徳の時間」で学習したことを，生活に生かそうとしている。」の項目がやや低かった。　78%	2	1		・保護者アンケートの「生活に生かそうとしている」で，７８%も肯定的に回答しているのは素晴らしい。	・普段の生活と結びつけて考えることができるように，カリキュラム・マネジメントを生かした授業改善を一層図る。 ・学校，各学年・各クラスの道徳コーナーを充実させる。 ・肯定的な声かけを各クラスで行うとともに，朝会等で児童のがんばりを確実に認めるようにする。
				生徒指導 ３つの宝（あいさつ・掃除・はきもの）に関わって，児童の肯定的評価が80%以上。保護者の肯定的評価70%以上。	①３つの宝に関わって，学期ごとに「〇〇のプロ」の取組を実施する。 ②取組について，児童に対して肯定的評価を行う。 ③生徒指導だより等を通して，保護者に成果を発信する。	３つの宝（あいさつ・掃除・はきもの）に関わって，児童の肯定的評価が80%以上。保護者の肯定的評価70%以上。	100%	はきものそろえ児童86% 保護者52%		児童108% 保護者74%	A C	◎「はきものをそろえている」 児童アンケート 肯定的評価　86%　前年度同時期86% ◎「児童ははきものそろえをしている」 保護者アンケート 肯定的評価　52%　前年度同時期46.4% ◎「児童は「はきものそろえ」ができているか」 職員アンケート 肯定的評価　75%（7月末）　前年度同時期　83.3% ●学校での取組を保護者に知らせるとともに，学校だけではなく家や公共の場でもはきものをそろえることができるように指導していく。 ●言われてそろえるではなく児童自らはきものをそろえることができるようになる取組が必要。	3			・学校以外の場所でも履物そろえができるようにしたい。保護者もできていない人が多いのではないか。	・はきものそろえの習慣が身についているとは言い難いことから，1学期に引き続き，はきものそろえの取り組みを行う。一人一人に配布した「はきものをそろえようカード」に，1回そろえるごとに色を塗る。次の人のためにそろえた，おもいやりの回数を視覚化することで，児童一人一人に，はきものそろえの習慣が身につくようにする。
学校体制		学校として取り組む方針や研究体制について，統一感・一体感のある学校組織を作る。		保護者アンケートで，学校に対して信頼を寄せていると回答した保護者の割合を８０%とする。	①毎月２回以上，学級・学年通信を発行し，学校での児童の様子を保護者に伝える。 ②保護者連携を丁寧，迅速に図る。	学校に対して信頼を寄せていると回答した保護者の割合８０%	100%	95.3%		119%	A	◎学級・学年通信を発行して，学校での児童の様子を保護者に伝えようとした。 ◎学校評価アンケート 保護者アンケート【肯定的評価】 ・児童は楽しく学校へ行っている。（９８%） ・児童は友達と楽しく遊んでいる。（９７%） ・学校のお便り，懇談会等で，学校や児童の様子を知ることができている。　　（９３%） ・学校は保護者や地域の方との連携を大切にしている。　（９３%） ●全学級で毎月２回以上，学級・学年通信を発行することができなかった。 【７５%実施（目標値８０%）】	3			・保護者の信頼度が高いのは素晴らしい。 ・保護者アンケートで否定的な回答をしている７%の保護者の思いを把握し対応していく必要がある。	◎学級，学年通信を月２回発行できるようにする。そのために，次の３点を意識して行う。 ・月初めに計画を立てる。 ・行事等，タイムリーな内容を考え，時期を遅れないで発行する。 ・紙面の大きさ・文量に関わらず，第一に児童の様子が伝わる内容構成を工夫する。 ◎保護者連携を丁寧・迅速に図る。そのために，次の２点を意識して行う。 ・児童の様子をよく見て，課題があればすぐに管理職に伝え，保護者連絡・連携を行う。 ・保護者アンケートの取り方を工夫・改善する。（記名式・記述枠を設ける等。）

【自己評価　評価】
Ａ：１００≦（目標達成）　　Ｂ：８０≦（ほぼ達成）＜１００
Ｃ：６０≦（もう少し）＜８０　　Ｄ：（できていない）＜６０

【外部評価】　イ：自己評価は適正である。ロ：自己評価は適正でない。　ハ：わからない。